



元氣とタイムリーな情報を提供する

五十嵐レポート

発行:「町コン」五十嵐 勉 2024年07月01日 第1174号「週刊五十嵐レポート」

ニッチトップから学ぶ

6月20日付日経新聞、「ニッチ銘柄に逆襲の目」という記事。

半導体関連を中心に上場しているニッチトップ企業を4社紹介している。

まず1社目は、イビデン(岐阜県)。同社は、米エヌビディア向け基板を寡占しているとされている。半導体パッケージ基板はICチップを搭載するための板状の部品。24年3月期、1人当り経常利益3.8百万円、損益余裕率(経常利益÷売上総利益)49.9%。(有価証券報告書より)

2社目は、フジミインコーポレーテッド(愛知県)。半導体部材のウエハの表面を磨くなどの研磨剤で世界トップ級のシェアを握る。TSMC(台湾)等にも取引がある。24年3月期、1人当り経常利益6.7百万円、損益余裕率40%。(有価証券報告書より)

3社目は、扶桑化学工業(大阪府)。国内唯一の果実酸総合メーカー、「リンゴ酸・クエン酸などの果実酸」、半導体産業に必要不可欠な「超高純度コイダルシリカ」を手掛け、世界のオンリーワン製品を製造。24年3月期、1人当り経常利益12.7百万円、損益余裕率57.7%。(有価証券報告書より)

4社目は、トリケミカル研究所(山梨県)。半導体の微細化に欠かせない誘電材料が主力製品で先端半導体向けは世界シェアの半分近く。24年1月期、1人当り経常利益11.7百万円、損益余裕率47.6%。(有価証券報告書より)

中小企業の1人当り経常利益は平均約1百万円。2百万円以上あると、高収益企業と評価される。中小企業の損益余裕率(経常利益÷売上総利益)は平均10%前後。20%以上あると、生産性の高い企業と評価される。

損益余裕率が10%とは、会社全体の売上総利益(粗利益)を稼ぐのに、一般販売管理費・支払利息等の経費が9割必要であり、残りの利益が1割しか残らないことを意味している。赤字会社は100の粗利益を稼ぐのに100以上の経費がかかっているとのこと。赤字会社は生産性が著しく悪いことを意味する。

生産性を高め、高収益企業になるには、小さな市場でトップを狙う。店なら地元で一番を取る。商品・サービスは細分化して目標を定める。これがなかなかできない。むやみに売上を追っかけてしまう中小企業が多い。残念だな。

ちょっと
気になる出来事

6月1828日付日経新聞の「私見卓見」は「簿記教育は小学生から」。

新NISAをきっかけに余剰資金で投資をする人が増えている。子どもたちのこれからの人生においても投資する機会は増えていくだろう。

文部科学省の学習指導要領に「会計情報の活用」が取り上げられ、金融教育は既に始まっている。小学生にも簿記教育を導入してはどうか。

江戸時代の寺子屋での教育は、「読み、書き、そろばん」。そろばんは数字の計算だけではなく、広義の簿記。簿記教育は江戸時代から明治初期にかけて重視されていたが、その後は淘汰されていった。

基礎の簿記知識は小学生でも理解できる。基礎を学べば、資産・負債・資本・収益・費用という簿記の要素が変化する意味が理解できる。

財務諸表が読めるようになる。ビジネスの共通言語である簿記を学ぶことが優秀なビジネスパーソンになるための必須である。

ランチェスター経営では中小企業の社長は少なくとも簿記3級の知識は必須と言われている。知らないで財務音痴になる。私も企業に就職して最初の3ヶ月で簿記3級を取らされた。これが今の基礎となっている。



一口メモ
知識

理財(りざい)

何をもってか位(くらい)を守る、曰く仁。何をもってか人を聚(あつ)むる、曰く財(ざい)。財を理(おさ)め辞(じ)を正しくし、民の非をなすを禁ずるを、義という。この一文は企業倫理として読める。

第一に、企業は仁愛、人の役に立とうという意志、社会貢献の精神をもって、その地位を守るものである。

次に、利益の追求は企業の義務である。経済が回っていく企業には人が集まる。また、経営者は、株主や顧客、従業員と家族、地域社会、世論に対して営利の責任を負う。

「財を理(おさ)め」とは理財の語源。公明正大な経営をし、利益を得て経済を発展させ、そして明確に伝わる言葉で経営の意志を示し、対外的にも透明性を示すことである。それができて初めて「民の非をなすを禁ずる」、すなわち、利益だけを追求せず、組織の人間が非合法な過ちを犯さないように、従業員教育に力をそそぐことができる。「義」とは守るべき正しい筋道。倫理教育をするとともに、非をなす者を見逃さず罰することである。「易経一日一言」(致知出版/竹村亜希子)より

●「戦略社長塾東京」小岩校 毎週日曜日・水曜日 午前10時~12時

●「戦略社長塾東京」銀座校、武蔵村山校、豊岡校 開講中。

㈱五十嵐コンサルティングオフィス 〒133-0051東京都江戸川区北小岩6-21-5

TEL03-3659-7703 Fax03-3659-7077 info@igarashireport.com

